

# 全国一般愛知地本

2020年 9月号

発行 2020年 9月 19日(土)

発行責任者

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部

執行委員長： 煤本 國治

## 第32回全国一般定期大会

# コロナ禍でのリモート開催

8月30日(日)に定期大会が開催され愛知からはアクリル支部の林委員長が代議員として参加し、傍聴として煤本委員長と恒川書記長が参加しました。今回の大会はコロナ禍の中での開催で、各地方の代議員は全てがリモートによる参加となり、戸惑う中での大会になりました。

初めに代表者からのあいさつに始まり、議案提案では、新型コロナの感染拡大で「格差拡大」が起きており、国民の命と健康、生活、営業がいつそう苦しくなっている事、政府は軍事費拡大ではなくPCR検査の拡充や医療体制支援などを行うべきで政策の転換が必要だと述べられ、春闘、一時金の闘争状況では昨年と比較してゼロ回答や未回答が大きく増えている事、地域に出入る闘いとして市民と野党の「総がかり実行委員会」や「雇用共同アクション」など多彩な国会前行動が取り組まれた事、共済拡大と組織拡大を組織強化につなげる取組みが求められることが報告されました。



**8時間働けば暮らせる  
社会を実現しよう!**



## 2021年度運動方針

1. 全力で「5つの組合活動の基本」をすすめ、仲間と 共済を増やす
2. 「最低賃金と中小企業振興」の二大運動を職場と地域ですすめる
3. 誰もが「8時間働けば人間らしい暮らしができる」社会の実現
4. 憲法改悪を阻止し、核兵器廃絶と原発再稼働反対、平和で安心な社会を実現

### 愛労連第1回評議委員会開催

9月5日に、愛知地本から評議員として山田執行委員が参加し、討論では、6単産、1地域からの発言があり、アクリル争議の現状と支援の協力要請について発言しました。

議案提案では県の求人倍率が全国平均を下回り、国内経済が大きなダメージを受けていること、安倍首相の辞意表明を受け国民の為の政策転換は待たないとして訴えられました。また県の最低賃金1円の引き上げを受け、連合の会長からは、「誰もが1000円、その先の1500円というところに向けて歩んでいく」と前向きな発言があった事が

争議団紹介では、各地方の代表者から争議についての現状報告がされ、愛知からは、林代議員からアクリルの報告として、会社から従業員に対し、解雇通知、社宅明け渡し要求書が出され、解雇撤回、操業再開を求め会社と闘い続ける事について報告されました。

役員選出では愛知から、中央執行委員として恒川書記長が選出をされ、承認されました。

その後も議事は進み最後に再任された東中委員長による「団結ガンバロウ」で締めくくり大会は無事に終了しました。

報告されました。今年度の選挙管理委員会に恒川書記長が選任されました。

最後に知崎議長による「団結ガンバロウ」で評議員会は閉会しました。



# ナトコ労働組合第40回 定期大会開催 9月12日

## 記念すべき節目を迎える



季節の変わり目を感じるようになり、日中も過ごしやすくなりました。ナトコ労組は40回目の節目となる大会を開催しました。今期は職場での感染防止、リモート・ワークの取入れ、日常でも外出時のマスクの着用とこれまでと身の回りの状況が大きく変化しました。大会においては、総括の提案、役員選挙が行われ、次期の活動方針につい

ての議論を重ねました。みよしと名古屋に職場が分かれているため、定期大会や定例会議は情報交換の場にもなります。いっもなら、大会後の打ち上げが大きな楽しみでもあるのですが、今回は誠に残念なことに打ち上げなしで解散となりました。忘年会まで辛抱です。

(書記次長 記)

### 【今後の日程】

- 9月23日 (水)
  - ・愛労連幹事会
- 9月26日 (土)
  - ・勤通大開校式スクーリング
  - ・アクリル争議支援共闘会議
- 10月3日 (土)
  - ・わくわく講座スクーリング
  - ・第2回中央執行委員会
- 10月9日 (金)
  - ・単一協議会入居者団体  
代表者会議及び防災訓練
  - ・アクリル支部決起集会
- 10月11日 (日)
  - ・愛知共済会・ハゼ釣り大会
- 10月14日 (水)
  - ・愛労連幹事会
- 10月18日 (日)
  - ・第25回あいち  
機関紙宣伝学校
- 10月24日 (土)
  - ・あつた支部定例会議③
- 10月28日 (水)
  - ・愛労連幹事会
- 10月31日 (土)
  - ・愛労連組織拡大討論集会



## 東京地評争議支援総行動開催



日本アクリル本社前

### すべての争議の早期勝利解決を

9月15日の東京行動に愛知からはアクリル支部より13名、アクリルOBの志水さんが参加しました。街宣行動は法務省前から始まり、各企業へ最低賃金格差の是正、不当な解雇の撤回、労働者いじめの根絶、非正規労働者の労働条件の改善等の訴えを行いました。アクリル本社前行動では、東京地評より常任幹事の斎藤さん、中央より副委員長藤原さん、愛労連より副議長谷藤さんを含む8名が要請団として本社に入り、工場閉鎖撤回、操業再開を求め要請書と団体署名、個人署名を提出しました。訴えの中で、ここ数年で何人も中途採用の人たちがおり、社宅から撤去しろと言われても従業員は路頭に迷うと訴えましたが、会社側は早期退職制度で



日本航空前にて

の話し合いに応じれば退職時期の延長も考えるとの発言があり、早期退職制度での解決しか選択肢は無いといった対応でした。本社前では、会社の横暴なやり方に対する怒りの訴えが街宣車上より周辺一帯に響き渡り周りの通行人に注目されていました。最後に日本航空前での行動となり一日に及ぶ総行動は終了しました。